所属：鶴岡工業高等専門学校　創造工学科　基盤教育グループ

歴史

研究タイトル：

古代史から見る日本の社会・文化



氏名：	山田　充昭 ／ YAMADA Mitsuaki	E-mail：	yamada@tsuruoka-nct.ac.jp
職名：	教授	学位：	博士（文学）
所属学会・協会：			

キーワード：	日本古代史、地域史、授業改善
技術相談 提供可能技術：	・8～9 世紀を中心とした日本古代史に関する話題提供 ・地域の歴史に親しみを持てる話題提供 ・歴史授業等の改善に関する相談（遠隔授業のあり方、授業ファイルの提供 等）

研究内容：

1. 衛府・検非違使に関する考察



平城京や平安京は、朝廷の政治支配を合理的に行うための舞台でもあった。当時の為政者達の、「清浄かつ壮麗な都城を維持しようとする」意図により、都の警察機能はどのように変質するのか…

← 応天門の変（866）の際、火災現場に向かう検非違使

2. 賑給（しんごう）に関する考察

「賑給」とは、朝廷等が実施する貧民救済。
7～10C の約 300 年間の賑給について調査することで明らかになった以下の傾向は、何を意味するのか…

- 平安遷都の直後から、都を対象とする賑給が激増。
- 9C 後半から、都ではない地域対象の賑給が激減。

3. 看鉢（ちゃくだ）に関する考察

人口が集積し、犯罪が多発する平安京では、犯罪者に対する裁判が追い付かず、現在で言う拘置所・刑務所も飽和状態であった。こうした状況を解消し、効率的（？）に量刑や行刑を遂行するため、どのような方策がとられたのか…



4. 庄内地域の歴史に関する話題提供

庄内地域には多くの史跡が残されており、また「三方領地替」のように、興味深い歴史事象も少なくない。
地域の歴史を特に若年層に触れてもらい、地域に一層親しみを持つことができるような話題を提供したい。

三方領地替を阻止するため、直訴に及ぶ庄内藩民衆 →（1840）

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）	